

令和7年度 第2回飯田市国民健康保険運営協議会 会議録【概要】

1 期日 令和7年5月14日（水）

2 場所 飯田市役所 A棟3階 A301-A302 会議室

3 委員出席者氏名（敬称略）

（1）被保険者代表

（2）鬼頭 実、原田清人、下平富美子、仲井幸子、奥村明日美

（3）保険医・保険薬剤師代表

波多野剛之、萩野下 丞、大鹿和完、松野文昭、中島和夫

（4）公益代表

横道 優、木下 淳、佐々木 豊、宮内早希子

（5）被用者保険等保険者

桐山優子、黒岩隆幸

4 事務局等出席者氏名

副市長 高田 修、総務部長 清水秀敏、こども未来健康部長 山崎由紀恵、

納税課長 後藤孝男、保健課長 宮嶋栄次、

保健課健康推進係専門技査 金田夕可、保健課特定健診・指導担当 山本恵梨

保健課国保係長 高田博夫、

保健課国保係 代田修平、原 巧磨

5 会議内容

（1）開会

（2）会長あいさつ

（3）会議録署名委員指名

（4）協議事項

ア 令和7年度飯田市国保特定健康診査等実施について

イ 令和7年度飯田市国民健康保険税の賦課方法(答申)について

＜事務局より説明＞

資料に沿って説明

＜質疑・意見等＞

（委員）

まずは特定健診を受けていただいて、予防できることは予防して、医療費の削減につながればいいと思います。受診率の弱い年代も分析されているようですので、地道な活動になるかと思いますが、特定健診の受診率向上に向けた取り組みをいただきますようお願いします。

（事務局）

今後の国保事業を健全に運営するため、対象者の特定健診受診率の向上に向けて取り組んでまいります。

(5) 令和7度飯田市国民健康保険税の賦課方法について（答申）

(6) 副市長あいさつ

答申の内容につきましては、今年度の国保税の本算定に反映させていきたいと思っております。また、いただいたご意見につきましては、今後の国保事業の中で、しっかりと踏まえて取り組んでまいりたいと思っております。

また、委員の皆様に申し上げたいことが2点ございます。

1つ目は県の動きです。今、長野県では、県内の国保料、国保税の統一に向けた検討が進められています。県内のどこに住んでいても、同じ所得であれば同じ保険料であるべきだという方針に基づいて、県内の保険料を統一する方向で考えられており、それをどのように進めていくかという検討が進められています。飯田市の国保についてもその方向に沿っていかねばならないということです。

もう1点ですが、これは国の動きです。こども家庭庁では、子ども真ん中社会という動きが進んでおりますが、その財源とするために、子ども子育て支援金制度ということを構築しようということで、令和8年度からは飯田市の国保も含めて各医療保険者はその納付金を納めることになっています。このため、令和8年度からは、この改定を踏まえて考えなければいけないと思っております。仮に国保税を改定するとなれば、この運営協議会の検討は必須の条件となりますので、皆さまには改めてそうした検討をお願いする場面もあると思っております。

(7) 閉会

6 会議資料

次第、第2回資料、答申書（写し）